

J T B との地域総合交流協定

㈱ J T B は、皆様ご存じのとおり国内大手の旅行会社です。㈱ J T B は、グループ全体の社員数が 2 万 6 千名の全国展開しているグローバル企業で、北海道から沖縄まで全国エリア別の旅行の販売を行うとともに、イベント・コンベンションの誘致をはじめ、人と人との交流を柱とした地域活性化に貢献している会社です。また、各種会議・大会の企画運営、商品プロモーション等の提案、交流文化に関する調査、展示会の企画・運営や福利厚生のアウトソーシングなど、企業や団体のさまざまな課題解決に取り組んでいる会社です。

この度、その㈱ J T B のお力を借りるため、地域総合交流協定を結び、明和町を全国へプロモーション（広告や販売促進）していくことになりました。

明和町は今、地方創生事業の「推進交付金」を受け、さまざまな事業に取り組んでおります。例えば、特産であるシクラメンの広告作成、梨を活かした町の宣伝がそうです。特に梨に関しては、個人の力を集め産地の法人化を目指した法人化協議会も立ち上げました。これにより、国からの補助事業で梨をプロモーションしていきます。また、「イクボスのまち明和」として「女性が輝くまちづくり」に力を入れていきます。女性が活躍するには、「子育てに理解のある管理職」が必要です。イクボスとは、そんな子育てに理解のある管理職を指しています。「育児に理解のある管理職」なので、「育（児）＝イク」と「管理職＝ボス」から「イクボス」と名付けられました。



(東京駅丸の内の東京シティアイ：木下推進部長と)

明和町が取り組む事業として、工業団地の造成と優良企業の誘致、そこで安心して働けるように託児所の創設、そしてJ・U・Iターン及び孫ターンを総称したMターン(明和ターン)を平成30年度から行うために(株)JTBの力を借ります。これらにより、地元雇用を創出し、地元高校生に地元企業の魅力を理解してもらえよう、町が主体となり近隣高校に企業説明会の開催を呼びかけます。そして、学生が東京都周辺の大学に進学しても、就職時には地元へ帰り就職(Uターン)しやすくすることで、明和町の人口増と活性化を図ろうとするものです。Mターンは、奨励金を設けて呼びかけるものですが、明和町と縁もゆかりもない方でもJ・Iターン出来るように、(株)JTBに商業及びプロモーションを担当していただくことになりました。つまり、(株)JTBには、明和町の特産品の商業(魅力の発

信)と人口増の活性化対策(持続可能なまちづくり)との2つの仕事を請け負っていただけるとのことです。この試みが、やがて実を結び好結果が出ることを大いに期待しております。

また、(株)JTBは、市場のグローバル化と多様化に対応すべく、さまざまな価値観や働き方を取り入れ、企業価値を高める「経営戦略」として、ダイバーシティに取り組んでいます。ダイバーシティとは、多様な人材を積極的に活用しようという考え方で、性別や人種の違いに限らず、年齢、性格、学歴及び価値観などの多様性を受け入れ、広く人材を活用することにより生産性を高めるマネジメントを推進することを言います。有能な人材の発掘、斬新なアイデアの喚起や社会の多様なニーズへの対応といった狙いがあり、我が明和町も少なからずその影響を受けて、庁舎内を活性化し住民の皆様へのサービス向上に繋がればと考えております。大いにご期待ください。

平成30年4月11日

明和町長 富塚もとすけ